

ノウハウ化する場合に押さえておきたい、先使用权・技術漏洩・必要な社内体制など、技術系企業としての特許・知財の知識の備えに。



《事業戦略・経営戦略のための知財塾》

自社技術のブラックボックス化のポイントと社内体制の構築法

～ オープン&クローズの分岐点 ～

日時	2016年2月22日(月) 13:00～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 4F 第1グループ活動室
受講料	43,200円 → 講師紹介割引 21,600円 (通常受講料の半額) (本体20,000円+税1,600円)	資料付	

講師 エース特許事務所 共同代表、弁理士・技術士(金属部門) 高橋 政治 氏

【専門】
化学、材料

1997年早稲田大学大学院理工学研究科資源及び材料工学専攻修了。同年、新日本製鐵株式会社入社。製鉄所にて技術開発等に従事する。2003年特許事務所に入所。2004年技術士登録(金属部門)。2009年弁理士登録。その後、特許事務所を経営。現在は、開発技術のブラックボックス化を中心とした技術戦略の策定、ブラックボックス化を実現するための社内体制の構築支援、社内研修会、セミナー・講演活動、ならびに、国内および外国における特許権利化業務等に従事する。主な論文に「技術開発・研究開発成果のブラックボックス化への考察」(月刊「化学経済」、化学工業日報社、2015.3月)、書籍として「技術者・研究者のための特許の知識と実務(第2版)」(秀和システム、2015年9月出版)などがある。

趣旨

技術開発/研究開発の成果である発明を技術的な営業秘密としてブラックボックス化(ノウハウ秘匿)することで、自社に莫大な利益をもたらすことができる場合があります。一方、技術内容や他社との競争優位性等によっては、ブラックボックス化せずに特許権を取得すべき場合もあります。このようなオープン&クローズの選択を間違えば、自社が膨大なコストをかけて開発した技術から全く利益が得られなくなったり、単に競合他社へ自社技術を公開してしまうだけになりかねません。この選択を適切に行い自社の売上・利益を最大化するためには、ブラックボックス化するか否かを判断するための観点・分岐点を整理して、それらの観点から総合的に判断するための社内体制を構築し、あわせて技術漏洩対策を施す必要があります。本セミナーでは、開発技術を営業秘密としてブラックボックス化(ノウハウ秘匿)する場合のポイント、それを実現するための社内体制の構築法、ブラックボックス化するか否かの判断基準(オープン&クローズの分岐点)などを解説します。また、ブラックボックス化したはずの技術が漏洩した場合の救済措置(不正競争防止法)や先使用权についても解説します。

プログラム

- 概要
 - 1.1 自社技術のブラックボックス化とは何か
 - 1.2 ブラックボックス化した場合のメリット
 - 1.3 ブラックボックス化によって莫大な利益が得られるパターン
 - 1.4 ブラックボックス化した場合に生じるリスク
 - 1.4 ブラックボックス化するために必要なこと
- ブラックボックス化するかどうかの判断基準(オープン&クローズの分岐点について)
- ブラックボックス化を実現するための社内体制の構築
 - 3.1 特許検討会の開催
 - 3.2 社員教育
 - 3.3 退職者対策(秘密保持契約と競業避止義務契約)
 - 3.4 職務発明制度の改良
- ブラックボックス化した自社技術について他社が特許権を取得した場合への備え
 - 4.1 先使用权とは何か
 - 4.2 先使用权の理論
 - 4.3 先使用权を立証するために用意すべき資料
 - 4.4 実例
- 技術漏洩した場合の救済措置
 - 5.1 最近の実例
 - 5.2 どのような場合に不正競争防止法によって救済されるのか
 - 5.3 救済を阻むもの

質疑応答・名刺交換口

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 B160222 (ノウハウ化) 講師紹介割引 DM

会社名 団体名			
部署			
役職			〒
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<p>今後のご案内</p> <p><input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 希望しない</p>
<p>お支払方法</p> <p><input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 当日現金払い</p>
<p>通信欄</p>

●受講料について
特別割引用紙のため、他の割引との併用はできません。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
※ご注意※
●お申込み後はキャンセルできません。
ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
●参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com